

平成 2 3 年度 建設局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 3 年度建設局予算要求総括表 . . . 1
- 2 平成 2 3 年度建設局経営方針 2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの 3
- 4 事務事業の見直し等（主なもの） 1 3

1 平成23年度建設局予算要求総括表

【一般会計】

平成23年度要求総額 41,123,359千円
 (平成22年度当初予算額 34,228,691千円)
 前年度比 20.1%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成23年度 予算要求額 A	平成22年度 当初予算額 B	増減 A－B
道路・街路事業	30,946,139	24,530,831	6,415,308
河川事業	3,612,211	3,218,883	393,328
公園事業	5,790,821	5,661,904	128,917

【下水道事業会計】

平成23年度要求総額 52,565,720千円
 (平成22年度当初予算額 53,338,990千円)
 前年度比 ▲1.4%

平成23年度単年度資金剰余 ▲521,938千円

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成23年度 予算要求額 A	平成22年度 当初予算額 B	増減 A－B
浸水対策事業	3,500,000	3,330,000	170,000
地震対策事業	900,000	910,000	▲10,000
合流改善事業	3,650,000	3,810,000	▲160,000

平成23年度 建設局予算要求総括表

(単位：千円)

区分		H23要求額	H22当初予算	増減額	前年度対比
	道路事業	17,453,103	13,232,600	4,220,503	31.9%
	街路事業	11,473,036	9,463,300	2,009,736	21.2%
	道路・街路事業 計	28,926,139	22,695,900	6,230,239	27.5%
	河川事業	3,244,590	2,746,689	497,901	18.1%
	公園事業	2,909,894	2,805,589	104,305	3.7%
	その他	5,500	61,900	▲ 56,400	▲ 91.1%
	投資的経費 計	35,086,123	28,310,078	6,776,045	23.9%
	道路事業	2,020,000	1,834,931	185,069	10.1%
	河川事業	367,621	472,194	▲ 104,573	▲ 22.1%
	公園事業	2,880,927	2,856,315	24,612	0.9%
	その他	768,688	755,173	13,515	1.8%
	行政経費 計	6,037,236	5,918,613	118,623	2.0%
一般会計 計		41,123,359	34,228,691	6,894,668	20.1%
うち 道路・街路事業		30,946,139	24,530,831	6,415,308	26.2%
うち 河川事業		3,612,211	3,218,883	393,328	12.2%
うち 公園事業		5,790,821	5,661,904	128,917	2.3%

平成23年度 建設局予算要求総括表

(単位：千円)

区分		H23要求額	H22予算		増減額	前年度対比
			当初	6月補正後		
	道路事業	17,453,103	13,232,600	16,813,460	639,643	3.8%
	街路事業	11,473,036	9,463,300	11,981,635	▲ 508,599	▲ 4.2%
	道路・街路事業 計	28,926,139	22,695,900	28,795,095	131,044	0.5%
	河川事業	3,244,590	2,746,689	2,887,989	356,601	12.3%
	公園事業	2,909,894	2,805,589	2,909,594	300	0.0%
	その他	5,500	61,900	61,900	▲ 56,400	▲ 91.1%
	投資的経費 計	35,086,123	28,310,078	34,654,578	431,545	1.2%
	道路事業	2,020,000	1,834,931	1,834,931	185,069	10.1%
	河川事業	367,621	472,194	472,194	▲ 104,573	▲ 22.1%
	公園事業	2,880,927	2,856,315	2,856,315	24,612	0.9%
	その他	768,688	755,173	755,173	13,515	1.8%
	行政経費 計	6,037,236	5,918,613	5,918,613	118,623	2.0%
	一般会計 計	41,123,359	34,228,691	40,573,191	550,168	1.4%
	うち 道路・街路事業	30,946,139	24,530,831	30,630,026	316,113	1.0%
	うち 河川事業	3,612,211	3,218,883	3,360,183	252,028	7.5%
	うち 公園事業	5,790,821	5,661,904	5,765,909	24,912	0.4%

※ 平成22年度は、6月議会において国の当初内示に合わせた補正予算を編成しているため、平成23年度要求額と同補正後予算額とで対比している。

2 平成23年度建設局経営方針

建設局においては、「元気発進！北九州」プランに掲げる「便利で快適なまち」の実現に向けて取り組んでいくと共に、さらにその上で、「緑の成長戦略で、人にやさしく元気な街づくり！」に掲げる政策課題に取り組むこととして、次の5つの方針に基づき、「選択と集中」による効率的な事業の推進に努めてまいります。

- 1 緑の成長戦略に資する快適なまちづくり
- 2 安全で安心な災害に強いまちづくり
- 3 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化
- 4 生活密着型公共事業の推進
- 5 次世代に引継ぐための施設の適切な維持管理

具体的には、

「1 緑の成長戦略に資する快適なまちづくり」では、自然エネルギーの活用やLED照明の導入、都心・副都心などのまちのにぎわいづくりを進めます。

「2 安全で安心な災害に強いまちづくり」では、2年連続の豪雨災害を受けた河川改修や浸水対策に取り組めます。

「3 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化」では、主要幹線道路の整備を推進します。

「4 生活密着型公共事業の推進」では、市民の声を聞きながら、市民生活に身近な道路・公園の整備を進めます。

「5 次世代に引き継ぐための施設の適切な維持管理」では、施設の長寿命化や市民との協働による施設の適切な維持管理を図ります。

3 重点的に取り組みを行う主なもの

1 緑の成長戦略に資する快適なまちづくり

自然エネルギーの活用やLED照明の導入など低炭素型のまちづくりを推進するとともに、都心・副都心など中心市街地での道路・公園・河川の整備によるにぎわいのある快適なまちづくりに取り組みます。また、下水道分野の水ビジネスのアジアへの積極的な展開にも取り組み、緑の成長戦略に資する快適なまちづくりを推進します。

VI-2・新規

☀ 道路照明、公園照明のLED化 (新規) 680,080 千円

低炭素社会の実現に向け、道路照明については、小倉都心黒崎副都心を先行的に、LED化を推進します。

また、公園照明は、再整備する公園や新設公園を中心に、LED化を図っていきます。



VI-2・継続

☀ 小倉都心・黒崎副都心の低炭素型まちづくり推進 1,331,260 千円

小倉都心では、ペDESTリアンデッキに太陽光発電やLED照明を導入すると共に、ヒートアイランド対策舗装等を行ない、環境負荷の低減を図ります。

また、水環境館に低炭素街づくりのPRコーナーを整備します。

黒崎副都心では、ペDESTリアンデッキや公園の再整備に合わせてLED照明を導入します。

- ◆小倉駅・黒崎駅ペDESTリアンデッキ整備
- ◆自転車専用レーン整備、ヒートアイランド対策舗装
- ◆公園再整備(黒崎中央公園・岡田公園)、水環境館低炭素街づくりPRコーナー整備 など



～黒崎駅ペDESTリアンデッキイメージ～

☀ 中心市街地の道路整備の推進

3,816,000 千円

- ◆小倉都心部 大門木町線、紫川東線、博労町線 など
- ◆黒崎副都心 黒崎駅前線、中央町穴生線 など

☀ 浄化センターでの環境負荷低減への取り組み

160,000 千円

浄化センターにおいて、太陽光発電設備の設置や、老朽化した照明設備の改築更新に伴う LED 照明の導入を行い、環境負荷の低減を図ります。

- ◆太陽光発電設備 新町浄化センター、北湊浄化センター
- ◆LED 照明設備 新町浄化センター



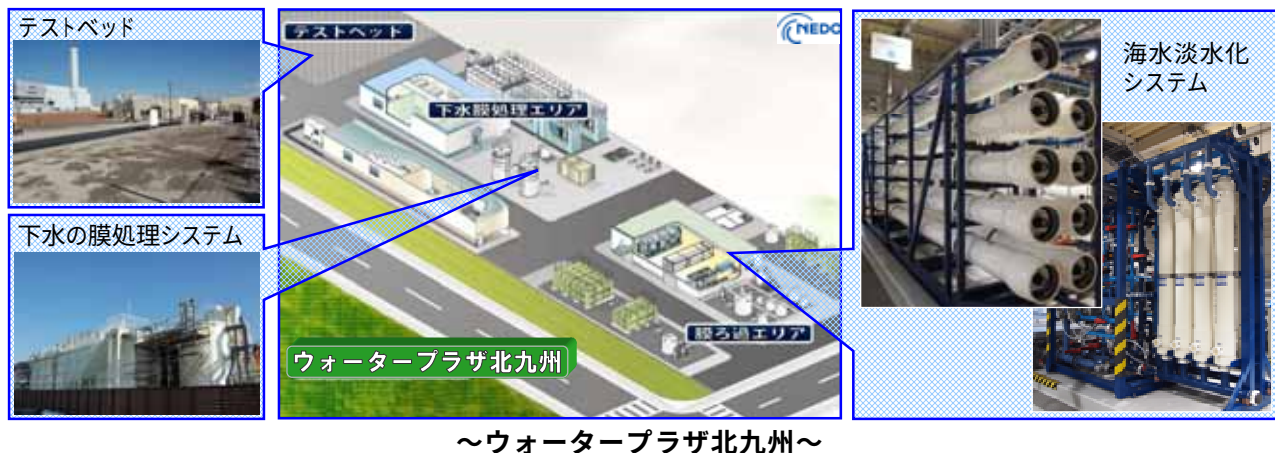
～太陽光発電設備のイメージ（左：新町浄化センター 右：北湊浄化センター）～

☀ 海外水ビジネスの推進

（新規） 46,319 千円

アジアの旺盛なインフラ需要と高い経済成長を本市の成長と地元経済の活性化につなげるため、官民の技術やノウハウを結集し、水ビジネスの海外展開を推進します。

- ◆北九州市海外水ビジネス推進協議会と連携した情報発信や案件形成
- ◆ウォータープラザ北九州の活用（実証研究など）
- ◆水ビジネス推進拠点（下水道ハブ）の招致と整備
- ◆ハイフォン市（ベトナム）に対する国際技術協力を活用した人脈づくり など



VI - 1 ・ 継続



～到津の森公園学習プログラム～

☀ 環境学習の推進 17,316 千円

「到津の森公園」「水環境館」「ほたる館」
「板櫃川“水辺の楽校”」の4施設の連携
による環境学習や、「長野緑地」の農業体験、
紫川水先案内人育成事業などを推進します。

VI - 4 ・ 新規

☀ 市西部地区（香月・黒川地区）ホタル保護活動拠点の支援

（新規） 38,000 千円

市内で最も多くのホタルが飛翔し、河川清掃
などホタル保護活動が盛んな香月・黒川地区
地域で、活動を支援する施設（トイレなど）を
整備します。



～黒川の清掃活動～

2 安全で安心な災害に強いまちづくり

2年連続の豪雨災害を受け、災害に強いまちを目指した河川や下水道施設・道路の整備など、安全で安心できる災害に強いまちづくりを推進します。

II - 1 ・ 継続

☀ 水害から市民を守る緊急整備事業

3,205,345 千円



～平成21年7月豪雨の状況～

平成21年7月、平成22年7月の豪雨による浸水被害を受け、従来からの事業に加え、平成22年度から『水害から市民を守る緊急整備事業』に新たに着手して、5年間で河川・下水道の緊急整備を集中的に取り組んでいます。

さらに、災害時の避難に役立つ河川水位などの情報を提供する河川情報システムの整備を行います。

◆河川：紫川、相割川、笹尾川、金剛川、東谷川、母原川 など

◆下水道：吉志地区、恒見地区、徳吉地区 など

II - 1 ・ 継続

☀ 浸水対策事業の推進

3,367,839 千円

浸水のない安全で安心なまちづくりを目指し、計画的な河川整備や下水道整備を着実に推進します。

◆河川改修 撥川、江川、板櫃川、金山川、神嶽川 など

◆雨水整備 門司駅周辺地区、蒲生地区、鴨生田地区 など

☀ 災害時における緊急輸送道路の確保

1,506,000 千円

地震時に重要な役割を果たす緊急輸送道路に架かる橋梁の耐震補強などを実施します。



☀ 下水道の地震対策の推進

900,000 千円

地震時においても下水道が機能するように、重要な下水道管や処理場などの耐震対策を行います。

3 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

アジアなど国内外での本市産業の競争力強化や企業誘致を促進するため、物流拠点間のアクセスを強化し、広域的なネットワークの形成を図ります。また、地域間の連携を促進し、市民の交通利便性の向上等に資する道路ネットワークの整備を推進します。

V - 2 ・ 継続

✻ 主要幹線道路の整備

10,544,600 千円

- ◆新若戸道路、戸畑枝光線、国道3号黒崎バイパス、尾倉ランプ（戸畑大谷線）、国道199号砂津バイパス、国道211号、中原戸畑1号線、恒見朽網線、砂津長浜線、都市計画道路9号線（熊谷～高野） など



～新若戸道路イメージ～

4 生活密着型公共事業の推進

市民の声を聞きながら、市民生活に身近な道路や公園整備などの生活密着型公共事業を推進します。

III - 1 ・ 継続

☀ バリアフリーのまちづくりの推進

1,743,920 千円

すべての人々が安全・安心で快適に暮らせる生活空間づくりを目指すために、歩道や公園などのバリアフリー化(段差の解消、手すり設置、エレベーター設置など)を推進します。



III - 1 ・ 継続

☀ 暮らしに身近な歩行空間整備事業

250,000 千円

地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路において、緊急で即効性のある維持補修や歩道整備など、幅広く事業を展開し、地域の安全安心な歩行空間づくりを推進します。

II - 2 ・ 新規

☀ 健康づくりを支援する公園整備事業

(新規) 178,100 千円

市民に好評な健康遊具を、医学・運動力学の観点から効果的に配置し、高齢者の健康づくりが行える公園整備を行います。

※ 継続的な健康づくりを促すための、『公園での健康づくり教室』など、普及啓発のソフト事業は保健福祉局で行う。



Ⅲ- 1 ・ 継続

☀ 愛着のもてる身近な公園づくり

280,887 千円

身近な公園が、誰もが安全で安心して利用でき、親しみや愛着が持てる公園となるよう、幅広く利用者の意見を聞きながら、ユニバーサルデザインに配慮した公園整備・改修を行います。



Ⅲ- 1 ・ 継続

☀ 地域に役立つ公園づくり事業

250,000 千円

地域コミュニティの活性化が図れるよう、小学校区を単位として、「まちづくり協議会」など地域住民の総意を踏まえ、利用しやすい公園整備（改修）を進めます。

5 次世代に引き継ぐための施設の適切な維持管理

都市基盤であり、市民共有の財産である公共施設を次世代に確実に引き続いていくため、市民との協働を進めながら、適切な維持管理を推進します。

V - 3 ・ 継続

☀ 橋梁長寿命化事業

2,331,000 千円

【うち 1,493,000 千円は、「災害時における緊急輸送道路の確保（p. 7）」の再掲】

今後 100 年間の長期展望に立ち、効率的・効果的に管理するアセットマネジメントの考え方を取り入れ、定期的な点検の結果に基に橋梁の状態に応じた計画的な保守工事を行うなど、橋梁を長持ちさせる予防保全型の維持管理を推進します。



V - 3 ・ 継続

☀ 公園施設の長寿命化への計画的な取り組み

90,000 千円

公園施設の維持管理において、効果的・効率的に管理するアセットマネジメントの考え方を取り入れ、公園施設の長寿命化及びライフサイクルコスト（※）の最小化のための計画を策定します。

（※）新設から維持管理までに要する生涯費用

III - 3 ・ 継続

☀ 道路サポーター事業 25,000 千円

道路の清掃や花壇の手入れなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民と協働による道路環境の向上と美しいまちづくりにつなげていきます。



「道路サポーター活動状況」

III - 3 ・ 継続

☀ 河川愛護団体補助事業 250 千円

河川の清掃や草刈などのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による河川環境の保全に努めます。



「河川愛護団体活動状況」

III - 3 ・ 継続

☀ 公園愛護会補助事業 7,216 千円

公園の除草や清掃、花壇づくりなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による美しい公園づくりに努めます。



「公園愛護会活動状況」

4 事務事業の見直し等（主なもの）

（１）行政評価による見直し

① 下水道分野における国際技術協力の推進

（環境ビジネスの積極的展開）

緑の成長戦略の一つである水ビジネスを国際技術協力で培った人的ネットワークを活用しながら進めていきます。

「海外水ビジネス」の拠点整備や国内外への情報発信・PR 活動などを積極的に展開していくため、事業の拡大を図ります。

（２）その他の見直し

① 道路照明灯設置工法の見直し （見直し効果 2,400 千円）

道路照明灯の建て替えや移設時は、近くに設置可能な電柱が有る場合、新たに柱を建てずに、この電柱に設置して、工事費用を縮減します。

② 下水道ポンプ場の運転整備体制の見直し

（見直し効果 65,000 千円）

神嶽ポンプ場の遠隔監視化と、弁天ポンプ場・都島ポンプ場を廃止し戸畑ポンプ場に統合することにより、委託料を削減します。